

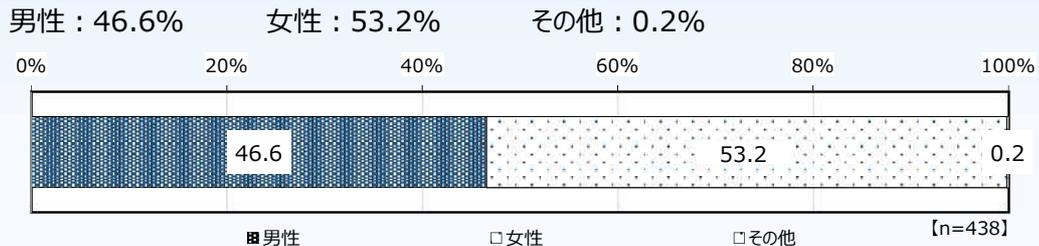
墓地に関する市民ニーズ調査

西宮市市政モニターの皆様を対象に2024年7月に墓地に関する市民ニーズ調査を実施し、ご意見をお聞きました。ご回答して頂きましたモニターの皆様には、厚くお礼申し上げます。

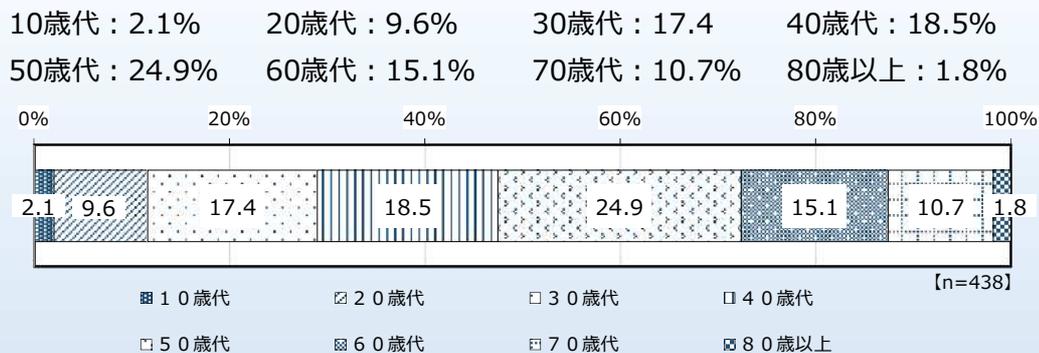
■有効回答率：86.1%（回答者数 438人／全モニター数 509人）

■有効回答者の構成割合について

・性別

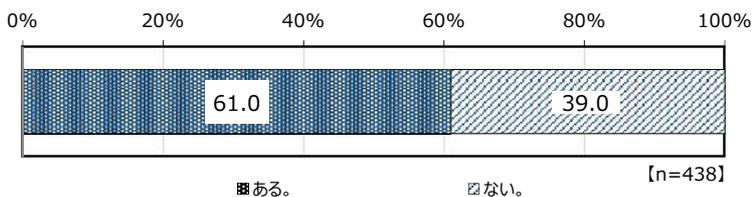


・年代別



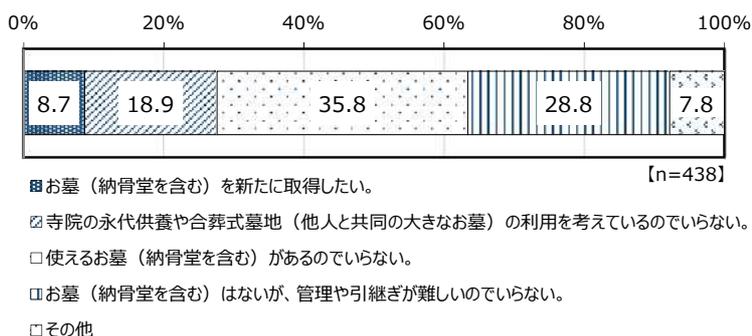
多様な墓地形態に関するニーズについて

ご自身の遺骨が納められるお墓（納骨堂を含む）について考えたことがありますか。



ご自身の遺骨が納められるお墓（納骨堂を含む）について考えたことがあるかお尋ねしたところ、「ある。」が最も多く61.0%と半数を超えています。次いで「ない。」が39.0%となっています。

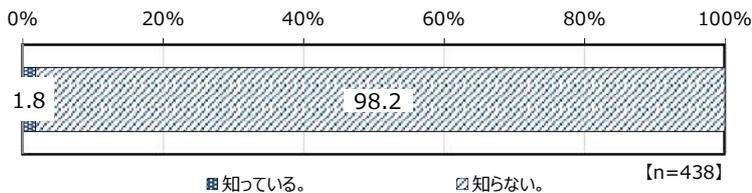
お墓（納骨堂を含む）の取得についてどのように考えますか。



お墓（納骨堂を含む）の取得についてお尋ねしたところ、「使えるお墓（納骨堂を含む）があるのでiraない。」が最も多く35.8%、次いで「お墓（納骨堂を含む）はないが、管理や引継ぎが難しいのでiraない。」が28.8%となっています。

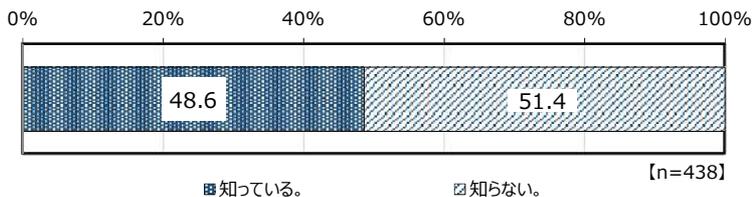
その他の意見は、「まだ何も考えていない。」「散骨を希望している。」などです。

西宮市では今年の4月から管理や承継が不要な合葬式墓地の供用（利用者共同での使用）が開始されていますが、このことを知っていますか。



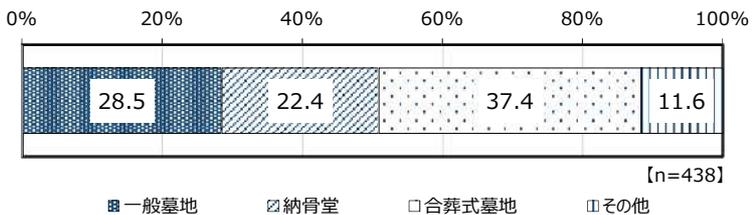
合葬式墓地の供用（利用者共同での使用）の開始についてお尋ねしたところ、98.2%とほとんどの方が「知らない。」と回答しています。

西宮市立墓地には合葬式墓地の他に、一般墓地（満池谷墓地など）と納骨堂（満池谷納骨堂）がありますが、いずれか1つでも知っていますか。



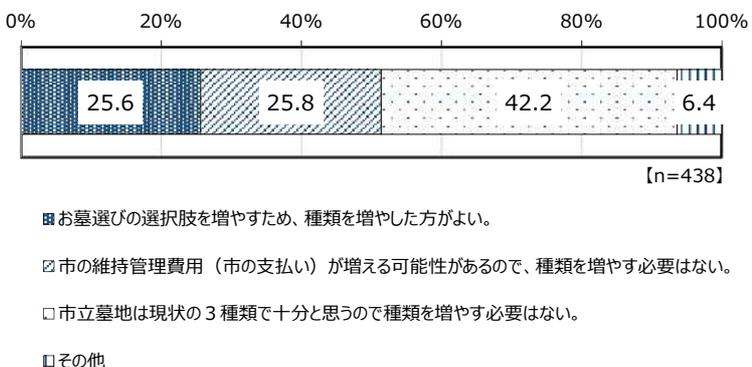
合葬式墓地の他に、一般墓地（満池谷墓地など）と納骨堂（満池谷納骨堂）を知っているかお尋ねしたところ、「知らない。」が51.4%、次いで「知っている。」が48.6%となっています。

将来、市立の墓地を使用するなら、どの種類の墓地を希望しますか。



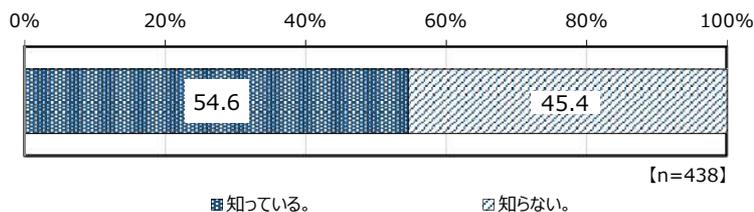
将来、市立の墓地を使用するなら、どの種類を希望するかお尋ねしたところ、「合葬式墓地」が最も多く37.4%、次いで「一般墓地」28.5%、「納骨堂」22.4%、「その他」が11.6%の順となっています。
その他の意見は、「樹木葬を希望している。」「散骨を希望している。」などです。

西宮市立墓地には、一般墓地、納骨堂、合葬式墓地の3種類があり、市立墓地としては種類が多いのですが、さらに種類を増やすことについてどのように考えますか。



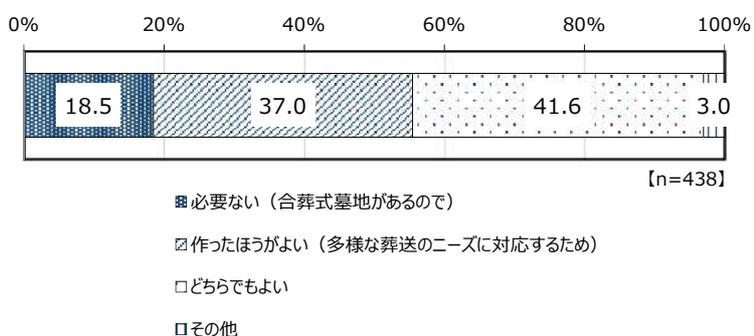
一般墓地、納骨堂、合葬式墓地の他にさらに種類を増やすことについてお尋ねしたところ、「市立墓地は現状の3種類で十分と思うので種類を増やす必要はない。」が最も多く42.2%です。
次いで「市の維持管理費用（市の支払い）が増える可能性があるため、種類を増やす必要はない。」が25.8%、「お墓選びの選択肢を増やすため、種類を増やした方がよい。」が25.6%とほぼ同率となっています。
その他の意見は、「合葬式墓地を樹木葬のような形にすれば良いのではないか。」「需要や緊急性、費用などにより決定すべきだと思う。」などです。

樹林や樹木下のカロート（遺骨を入れる場所）に他人の遺骨とともに合葬する「樹木葬」があることを知っていますか。 ※樹木葬は、樹木を墓石替わりにシンボルとした合葬式墓地の形態の1つです。



樹林や樹木下のカロート（遺骨を入れる場所）に他人の遺骨とともに合葬する「樹木葬」があることにお尋ねしたところ、「知っている。」が54.6%、次いで「知らない。」が45.4%となっています。

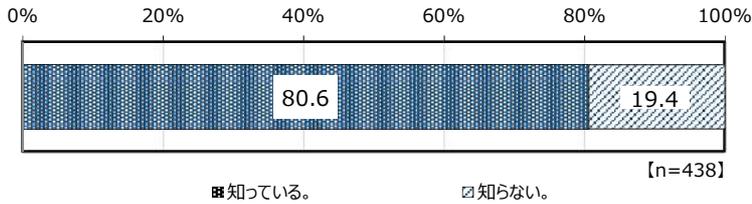
西宮市で「樹木葬」を取り入れる必要性についてどのように考えますか。



「樹木葬」を取り入れる必要性についてお尋ねしたところ、「どちらでもよい。」が最も多く41.6%です。
 次いで「作ったほうがよい。（多様な葬送のニーズに対応するため）」が37.0%、「必要ない。（合葬式墓地があるので）」が18.5%となっています。
 その他の意見は、「独身の方や子供がいない方にニーズがあると思う。」「維持管理は持続可能か十分に検討する必要がある。」「合葬式墓地を樹木葬にすれば良いのではないか。」「合葬でなければ、取り入れたほうが良い。」などです。

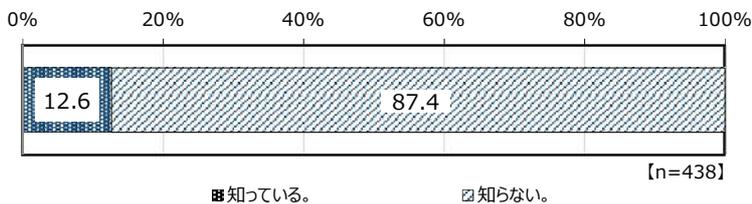
残骨灰の取り扱いについて

火葬時に残骨灰が残ることを知っていますか。



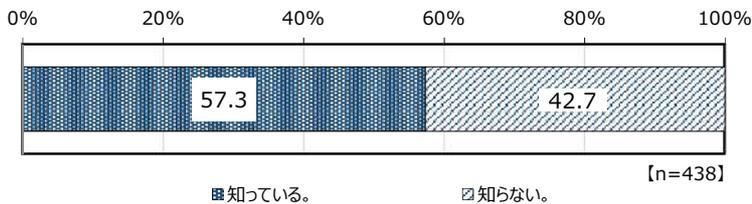
火葬時に残骨灰が残ることについてお尋ねしたところ、「知っている。」が最も多く80.6%と、半数を超えています。
次いで「知らない。」が19.4%となっています。

残骨灰には、ダイオキシン等の有害物質が含まれており、無害化処理が必要であることを知っていますか。



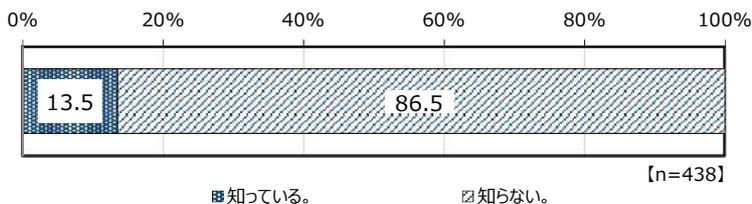
残骨灰には、ダイオキシン等の有害物質が含まれており、無害化処理が必要であることについてお尋ねしたところ、「知らない。」が最も多く87.4%と半数を超えています。
次いで「知っている。」が12.6%となっています。

残骨灰に歯の治療等に用いられた金・銀・パラジウム等の有価物が含まれている場合があることを知っていますか。



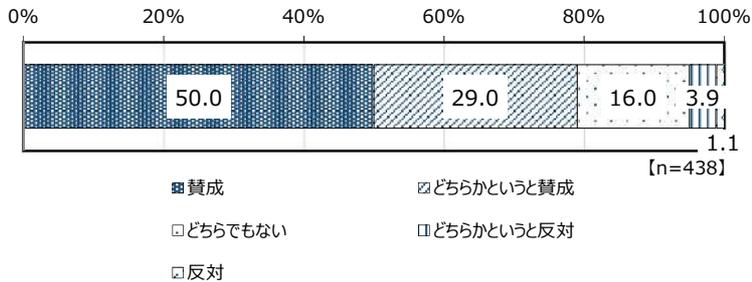
残骨灰に歯の治療等に用いられた金・銀・パラジウム等の有価物が含まれている場合があることについてお尋ねしたところ、「知っている。」が最も多く57.3%となっています。
次いで「知らない。」が42.7%となっています。

住民サービスに還元することを目的として、残骨灰に含まれる金・銀・パラジウム等の有価物を収益化している自治体があることを知っていますか。



住民サービスに還元することを目的として、残骨灰に含まれる金・銀・パラジウム等の有価物を収益化している自治体があることについてお尋ねしたところ、「知らない。」が最も多く86.5%と半数を超えています。
次いで「知っている。」が13.5%となっています。

ご遺族が部分収骨（お骨を一部収骨すること）か全収骨（お骨全てを収骨すること）を選べることを前提に、有価物を取り除いた後の残骨灰を無害化し適切な供養地に埋葬することを条件として、自治体が残骨灰に含まれる有価物を収益化し、市民サービスに還元することについてどのようにお考えですか。

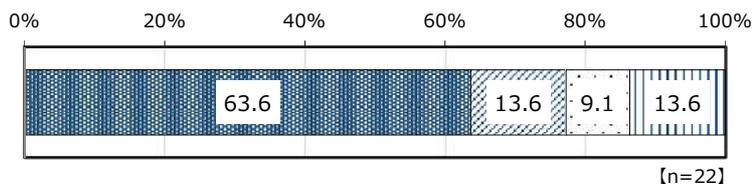


残骨灰に含まれる有価物を収益化し、市民サービスに還元することについてお尋ねしたところ、「賛成」が最も多く半数の50.0%となっています。

次いで「どちらかという賛成」が29.0%、「どちらでもない」が16.0%、「どちらかという反対」が3.9%、「反対」が1.1%の順になっています。

残骨灰に含まれる有価物の収益化し、市民サービスに還元することについて

「どちらかという反対」「反対」と回答された方にうかがいます。その理由は何ですか。



- 残骨灰は収骨できなかったご遺骨の一部であり、遺族感情として残骨灰で収益化を図ること自体が適切ではないと考えるため。
- そもそも、残骨灰に含まれる有価物で収益化を図ることができるのか、疑問を感じるため。
- 残骨灰に含まれる有価物で得た収益は、その特殊性から、あらかじめ利用目的を明確にして活用すべきだと考えるため。
- その他

残骨灰に含まれる有価物を収益化し、市民サービスに還元することについて「どちらかという反対」「反対」と回答した理由についてお尋ねしたところ、「残骨灰は収骨できなかったご遺骨の一部であり、遺族感情として残骨灰で収益化を図ること自体が適切ではないと考えるため。」が最も多く63.6%で、半数を超えています。

次いで「そもそも、残骨灰に含まれる有価物で収益化を図ることができるのか、疑問を感じるため。」と「その他」が同率で13.6%、「残骨灰に含まれる有価物で得た収益は、その特殊性から、あらかじめ利用目的を明確にして活用すべきだと考えるため。」が9.1%の順となっています。

その他の意見は、「利益はその家族に還元させるべき。」「宗教倫理的に識者（牧師、神父、僧侶、神主）の見解を含めた特別委員会で十分に議論が必要。」などです。